

## ピア・メンター合宿について

山岸亜理沙

私が『ピア・メンター合宿』という言葉を見たのは、ドアに張り紙されていたところでした。日程は、ちょうど夏休み。バイトもしないでグータラしていようと思っていたのですが、なんとなく興味がわいたのです。『ピア・メンター』とは、一体何なんだろう？自然と出てきたこの質問を解決すべく、私はピア・メンター合宿に参加しました。

合宿当日までに、一緒に参加することになった学生とピア・メンターとは何だろうという話をたくさんしました。「カウンセラーか何か、かな？」ということで、話は盛り上がりました。しかし、実際に合宿に行くと驚きました。「ピア・メンター」は、カウンセラーなんかじゃありませんでした。場の空気の中心的立場の人・雰囲気悪い方から良い方向にもっていく役割を持つ人。そんな働きを持つ人のことを言うのです。自分の想像とあまりにも違って、少し戸惑いもしました。しかし、合宿が進んでいくとピア・メンターの面白さと必要さに気づくことができました。特に今回の合宿では、学校の授業時に働くピア・メンターの役割が例として挙げられ、それがテーマの中心でした。

「良い授業とは何か？」に焦点を当て、ピア・メンターがどう働くことができるのかを他の大学から来た人たちと話し合ったり、最後には劇にして見せたりもしました。最初は初対面ということもあって、なかなか話し合いが進みませんでした。それは、他のグループにも見受けられました。だけど、私のグループの一人がスムーズに話を進めようとして働き始めてくれました。それからは、お互いに意見が出し合えたり行き詰っても上手く進行してくれる人が出てきたり、と一気に良い方向に進みました。その時は緊張とか話し合いに夢中になって気づきませんでした。今思えばその時の感じが既にピア・メンターの働きによるものだったと思います。意見がなかなか出てこなくなってしまう悪い空気を、一人一人指名して意見がないか聞いてみたり上手い進行をしたりして、何とか意見が出るような良い空気に変えていく。その時に私は、ピア・メンターの働きを見て感じていたのです。

ピア・メンターの働きについて、十分に分かったことと、もう一つこの合宿に来て良かったことは、他大学との交流を深められたことです。看護大学は単科大学な分、人の数が圧倒的に少ないです。それが悪いわけではないのですが、もっと人とのつながりを広げて悪いことはありません。特に他の大学が近くにないこともあって、このピア・メンター合宿で出会えた人たちとの交流はとても良い刺激になりました。

今回のピア・メンター合宿では、ピア・メンターと一体どういったものなのかという新しい知識とともに、他大学との交流も出来ました。夏休みをとっても有意義に過ごせた日でしたし、貴重な経験をさせてもらいました。ちょっとした興味から得られたものは多く、ピア・メンター合宿に参加して本当に良かったなと思います。

(本学学生 1年生)